

平成30年度大阪府立泉大津高等学校学校運営協議会 (第3回) 議事録

日 時 平成31年2月25日(月) 14:00~15:30

場 所 本校 応接室

出席者 湯峯委員長、浦西委員、植野委員、安岡委員、岡委員

(学校) 瀨本校長、中村教頭、林首席、森岡首席、齋藤事務長

1 校長あいさつ

2 第2回議事録確認

3 協 議

(1) 平成30年度学校経営計画の達成状況について

①平成30年度学校教育自己診断結果 報告

- ・情報機器の利用や体験的な授業の充実について、高評価を得た。
- ・いじめ対応について、生徒・保護者ともに高評価を維持できている。
- ・生徒指導については、生徒の支持は50%を割ったが、保護者には受け入れられている。
- ・校外学習、人権学習については高評価を維持できている。
- ・学校ホームページについては、災害時の対応等を校長ブログで発信していたこともあり、10%以上、上昇した。
- ・初任者への指導体制は、取り組み方が変わったわけではないが、初任者が1名であったこともあり、少し評価が下がった。

②学校経営計画 達成状況・自己評価 報告

- ・「わかる授業づくり」では、少しずつではあるが、授業アンケートの評価が上がっている。引続き環境整備と、AL型授業の実践を勧めたい。
- ・ビジネス情報コースについては来年度のコース選択希望者は若干増えたものの、存続の可否も含めて検討している。
- ・キャリア教育については、トータルキャリアプランに加えて、1年生の総合的な学習の時間で、来年度以降にカリキュラムに入ってくる、「総合的な探究の時間」を先取りする形で、実施し、それも含めて、肯定的な評価を得た。また、3年生の春の時点での進路希望はほぼ達成できたとみている。
- ・自主性と規範意識の醸成については、遅刻件数が大幅に減った。自己診断の結果で生徒の指示が低いのは、一部の生徒で指導に不公平感があるようだが、生徒の意見に耳を傾けることも必要になると考える。

- ・学校力の向上については、若手とミドルリーダーの育成を含めて学校全体でA L型授業とI C T活用力の向上をめざして、さらなる取り組みが必要だと考える。
- ・教員の働き方改革も見据えて、学校としての部活動方針策定や、校務の見直しを図っていく。
- ・泉大津市との連携で、中学校への出前授業や本校3年生の出身中学校で後輩たちに向けて話をするなどの交流事業、教員の観点別評価に関する研修などを実施し、来年度は国際交流事業を実施予定である。

(2) 意見交換

- ・自己評価が低いように思う。もっと好評価でよいのではないか。
- ・高校生から話を聞くことは中学生にとってとても良い機会になる。是非、継続してほしい。
- ・生徒指導に対する評価が低いとあるが、生徒を見る限り、そのような印象はない。生徒たちを見ると、教員と生徒の関係がよくわかる。また、保護者の指示が高ければ、学校の後押しをしてくれるので、自信をもって進めてよいと思います。
- ・先生方の働き方も厳しい状況であり、いろいろ指摘されることも多いと思うが、教員にゆとりがないと、教育の質も上がらない。何か参考となるようなアイデアはないか。 ⇒ 行事の見直しや、朝の電話連絡の方法をメールにする、テストの外部委託、新しく何かを立ち上げる際に何と置き換えるかなど工夫をしていく。